

つくった電気を、ムダなく使える社会へ！ 「直流送電」の実現へ向けて



太陽光発電や風力発電によってつくられた電力は、みなさんの家庭やオフィス、工場まで、長い道りを運ばれてきます。このとき、発電された電力がそのまま100%届くわけではなく、いま日本で用いられている交流送電網では「送電ロス」が発生しています。そのロスを低減することができるかと期待されているのが「直流送電」。シツキの重点事業である「産業機器用コンデンサ」の中には、直流送電用のコンデンサも含まれており、次世代の送電システムの実現とともに、さらなるニーズの高まりを見据えています。

直流送電が
変える！
電力の未来

送電ロスの低減

従来の交流送電網と比べ、送電ロスを低減できる。

再生可能エネルギーの普及促進

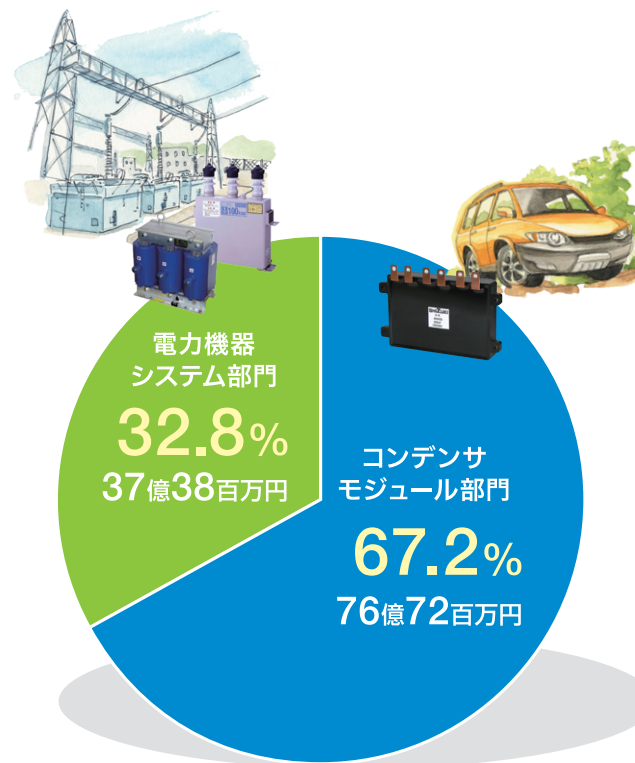
風力・太陽光発電との連携が容易なため、再生可能エネルギーのさらなる普及促進に、CO₂の削減にも貢献。

～高圧直流送電用コンデンサの納入実績～



三菱電機株式会社が、高圧直流送電システムの製品開発や検証を担う施設として2018年11月に稼働をスタートさせた「HVDC[®] 検証棟」。シツキの直流送電用コンデンサが採用されました。
※HVDC…High Voltage Direct Current (高圧直流送電)

部門別売上高比率 (2019年9月)



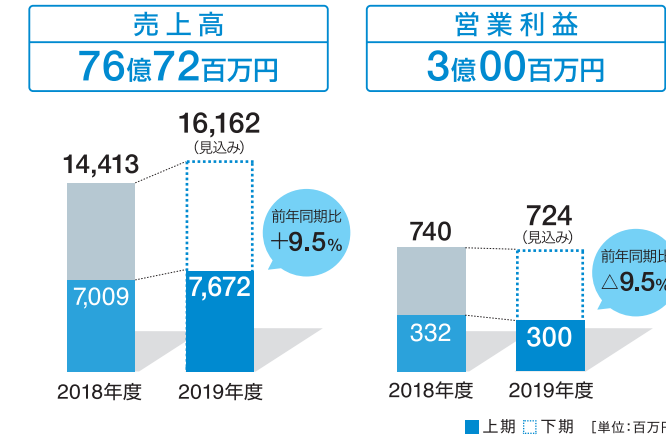
連結売上高

114億10百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△873百万円があります。
(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

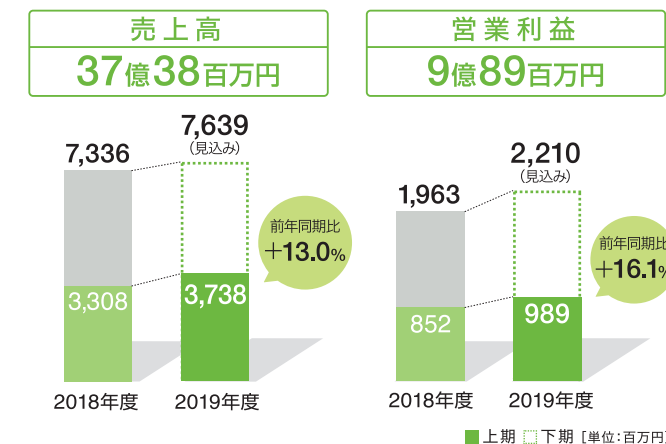
コンデンサ・モジュール部門

xEV用コンデンサおよび海外市場の電鉄車両用が好調に推移しました。結果、売上高は76億72百万円(前年同期比9.5%増加)となりました。



電力機器システム部門

力率改善装置が堅調に推移しました。結果、売上高は37億38百万円(前年同期比13.0%増加)となりました。



教えて！

コンデンさん

明るくなったり、暗くなったりする“あの光”、航空障害灯の正体。

工場の煙突とか、鉄塔とか、背の高いビルとか、夕暮れになると街のあちこちでチカチカと“明滅”を始めるあの光。「航空障害灯」といって、飛行機が安全に飛べるように建物の存在を知らせてるの。実は、その明滅こそ、私たちコンデンサの働きなのよ。
コンデンサが自分に電気を「充電」して、それを「放電」して。それをくり返すことで障害灯の光をコントロールしてるの。充電と放電をくり返すためには、高い電圧と電流、容量が必要なんだけど、それこそ私たちフィルムコンデンサの得意技なのよ。

